

EPSA (Enhanced Private Sector Assistance for Africa)

アフリカの民間セクター開発のための共同イニシアティブ

- 日本とアフリカ開発銀行 (AfDB) の協調枠組み
- アフリカの持続可能で包摂的な成長のため、民間セクター開発を包括的に支援
- 2005年のG8 グレンイーグルズ・サミットにおいてEPSAを発表。その後、TICAD 6 (2016年) においてEPSA3を発表して以降、TICADの場でEPSAの更新を発表。
現在、前回のTICAD7において発表したEPSA 4 (2020~2022、35億ドル) を実施中
- 今般TICAD8において、EPSA5として、今後3年間 (2023~2025) で最大50億ドル (通常枠40億ドル + 特別枠最大10億ドル) の資金協力を発表

※特別枠は、債務の透明性・持続可能性の向上を含めた改革に取り組み、債務健全化に着実かつ顕著な前進が見られる国を支援するため、新たに創設

政府向け支援 (ACFA)

Accelerated Co-Financing Facility for Africa

◆ AfDBとの協調融資

◆ 重点分野

「電力、連結性、保健、
農業・栄養」

民間向け長期資金 (NSL)

Non-Sovereign Loans

◆ 民間企業向け長期資金の供与 (AfDB経由のツーステップローン)

◆ JICAの海外投融資とも協調

技術支援 (FAPA)

Fund for African Private Sector Assistance

◆ AfDB内の信託基金を経由した協力

・ 質高インフラ、債務、保健、エネルギー、交通、農業等支援

・ セミナー等を通じたステークホルダー間の連携強化